



建築技術性能証明書

技術名称：ユニット形式枠組フレーム構法

申込者：株式会社渋谷 代表取締役 渋谷 守浩
奈良県桜井市外山186番地の1

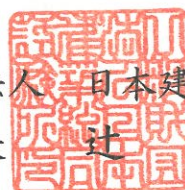
技術概要：本技術は、海上コンテナ規格サイズに合わせた純ラーメン架構をユニットごとに製作し、外装・内装仕上げを施したユニットを現場で組み立てるものである。各ユニットの縦連結は、上下ユニット間の柱のメタルタッチおよび上層ユニットの下梁と下層ユニットの上梁を高力ボルトによって簡易に接合し、横方向は縦連結位置に設けた接続板を介して隣接するユニットを接合する。

開発趣旨：本技術は、東北地方太平洋沖地震で見られた多くの建物被害後の復興再建用建物としての需要に応えるためのものである。被災地の需要として、簡易に建設できる建物が切望されていたが、現地での資材運搬、施工能力は限られていた。本技術は、建物を工場で仕上げ、現地まで運搬して簡易に設置することを可能にし、現地施工を最小限にすることを目的としている。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

平成 27 年 1 月 6 日

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 辻 文 三



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料 1：ユニット形式枠組フレーム構法 性能証明のための説明資料

資料 2：ユニット形式枠組フレーム構法 設計・施工指針

資料 1 には本技術の目標性能達成の妥当性を確認した実験および解析資料がまとめられている。

資料 2 は本技術の設計・施工指針であり、適用範囲、使用材料、設計方法の他、製作・施工法や管理方法等が示されている。

また、付録として設計例および実験時の写真が示されている。

証明内容：申込者が提案する「ユニット形式枠組フレーム構法 設計・施工指針」に従って設計・施工されたユニット連結構造体は、長期荷重時に使用性、短期荷重時には損傷制御性を満足し、極めて稀に生じる大地震時にも連結ボルトが破断することなく、標準層せん断力係数が 1.0 の設計用層せん断力を超える耐力を保有している。